

# 原子力産業新聞

2013年3月7日  
 平成25年(第2661号)  
 毎週木曜日発行  
 購読料1年分前金(消費税、国内送料込)  
 会員 9,500円(1部220円)  
 非会員 15,000円(1部350円)  
 (当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 安全目標の検討にも着手、10年ぶり

規制委員会 運転期間延長認可制度の検討も

### 敷地内破砕帯ではピア・レビュー 原子力災害指針を決定

原子力規制委員会は二月二十七日、新たな原子力災害対策指針を決定したほか、今後の大きな課題である核セキュリティ、敷地内破砕帯の評価案に関するピア・レビュー、運転期間延長認可制度、安全目標などの検討に着手することを決めた。安全目標の検討は、旧原子力安全委員会の専門部会が二〇〇三年に中間取りまとめを行って以来、十年ぶり。

安全目標については、〇三年十二月に旧原子力安全委員会の安全目標専門部会(部会長は近藤駿介・東京大学工学系研究科教授)当時、現原子力委員長)が取りまとめた「安全目標に関する調査審議状況の中間とりまとめ」があり、約三年の歳月をかけて作ったもの。その主な内容は、定性的な目標として、原子力利用に伴う放射線や放射

### エネ基本計画審議へ 総合部会で 委員15名に絞る

茂木敏充経産相は一日の閣議後の記者会見で、三年に一度見直すことになつていくエネルギー基本計画の検討を、民主党時代の総合資源エネルギー調査会・基本問題委員会ではなく、総合部会で検討し直していくことを表明した。部会長には基本問題委員委員長を務めてきた三村明夫・新日鉄住金取締役相模が就任するほか、委員十四名を発表した。(2面に委

員名) エネルギー分析、グリーン政策、電力システム、原子力政策、エネルギー安全保障、地域経済など各分野の専門家を配し、エネルギー政策全体を考へてもらいたい」と要望した。第一回会合は十五日夜、自らも出席して開くことを明らかにした。取りまとめに当たっては、年内をメドに一定の取りまとめをしてもらえるとありがたい」と述べた。

### 運転延長の基本的考え示す

規制委 バックフィットとの整合性課題

このほど、規制委が示した考え方は、個別プラントごとに延長期間を審査の上、判断することとし、特に、原子炉圧力容器やコンクリート構造物といった取替困難な重要機器、従前の制度や定期検査では把握されていない部分も含め最新の知見を反映した劣化状況の評価、技術基準への適合に関する説明を求める。また、「バックフィット制度」との整合性ある判断も行えるようにする。

### 断層判断。ピアレビュー 二重チェック 座長に地質学会長

原子力規制委員会は八日より、同委の有識者会合が取りまとめた発電所敷地内破砕帯の評価書案に関するピア・レビュー会合を行う。

現在、日本原子力発電・敦賀発電所と東北電力・東通発電所について、評価書案が取りまとめられているところ。中立の立場から、あらかじめ各専

門学会から推薦された十六名の有識者の中から、各サイトの評価に係らなかつた有識者により意見を求め、考え方のプロセス、論理展開、結論の明確さ、図表の扱い方などをレビューし、続くサイト調査の参考にも資する。座長には、石渡明・日本地質学会会長が就任する。

すでに評価書案が示された両サイトに関して、いずれも「活断層である可能性が高い」との評価結果となっており、まず八日に、先に評価結果が示された敦賀発電所についての「ピア・レビュー」を行う。

### この一週間の出来事

(2月28日(木)～6日(水))

- ・新潟県知事、原災対策指針改定に難色(28日)
- ・経産専門委、電気料金審査が佳境(5、6日)
- ・福島事故フォローアップ報告書公開(6日)

### 原産新聞の紙面から

#### ◇国内ニュース

- ・電事連が新安全規制制度の検討で意見(2面)
- ・原子力委員会の見直しで山本大臣が答弁(2面)
- ・もんじゅ安全は軽水炉の新基準ベースに(2面)
- ・2月の原子力発電利用率5.3%(4面)

#### ◇海外ニュース

- ・GEH、パデューカでレーザー濃縮工場(3面)
- ・UAEでバラカ3、4の建設許可を申請(3面)
- ・「英国の原子力Q&Aシリーズ①」(3面)

## KCPC

原子力関連機器・装置の信頼を誇る  
**KCPC**はお客様の種々のニーズに対して  
 高い技術と長い実績でお応えしております。

未来へ挑戦する KCPC

**木村化工機** 株式会社

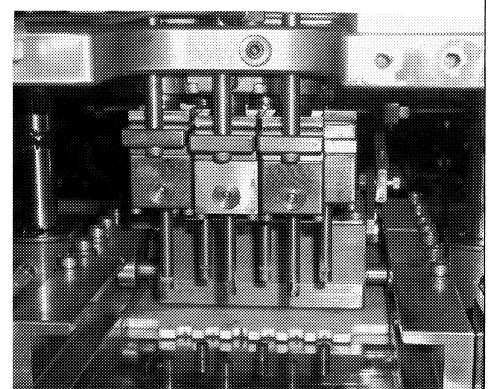
■本社工場 ☎ 06-6488-2501  
 ■東京支店 ☎ 03-3837-1831  
 E-mail:tokyo@kcpc.co.jp

### 原子力 営業品目

- キャスク関係 MOX燃料製造設備
- 燃料取扱装置関係 ホットラボ・セル関係
- 核燃料再処理機器関係 照射装置関係
- 放射性廃棄物処理装置 原子力周辺機器関係

上記の設計・製作・据付・試運転

ファックス 06-6488-5800  
 ファックス 03-3837-1970



MOX用レシプロ式プレス機